



2015 年度からスタートした、IBM 健保組合のデータヘルス計画。
1 年目に実施した各健康課題への対策・事業などの
取り組みとその結果についてご報告します。



健康課題 糖尿病合併症予防への取り組み

IBM 健保組合では、糖尿病によって人工透析が必要となる方を減らすため、
2015 年度より重症化予防事業の対象者を現役社員から全加入者へ広げて実施しています。

「糖尿病重症化予防事業」概要

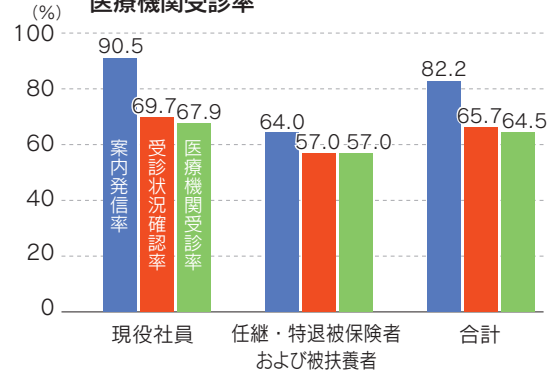
- 健康診断で HbA1c7.4%以上を対象者として抽出。
- 医療機関の受診状況を確認。
- 希望する方に糖尿病専門医をご紹介。

プログラム委託先：一般社団法人 専門医ヘルスケアネットワーク

★実施状況 2016 年 6 月末現在

- HbA1c7.4%以上の対象者は 321 名 (①現役社員 221 名、②任意継続・特例退職被保険者および被扶養者 100 名) でした。
- 受診状況を確認できた方は 211 名 (①同 154 名、②同 57 名) で 65.7%でした。
- 未受診の方へは専門医情報をご提供し、医療機関受診者数は 207 名 (①同 150 名、②同 57 名) で 64.5%でした。

■ 対象者への案内発信率・受診状況確認率と医療機関受診率



Report 1

受診状況確認者の医療機関受診率は高い

受診状況を確認できた 65.7%のうち、98%以上の方が医療機関を受診されています。数値の改善等、その効果については今後検証していきます。

Report 2

プログラム参加者からの声

「このたびは受診のきっかけを作っていただき、ありがとうございました。このような機会がなければ放置したままだったかもしれません」
「紹介いただいた糖尿病専門医を受診しましたが、説明も丁寧で、治療の選択、通院スケジュール設定にも柔軟に対応していただきました」
「初診にもかかわらずとても話しやすく、治療を継続していけそうです」

Message 糖尿病専門医への受診を

ご自身の HbA1c の数値はご存じですか？ 糖尿病重症化予防プログラムの対象は HbA1c7.4%以上の方ですが、健診結果で C 判定、D 判定、E 判定に該当されていたら、医療機関を受診してください。糖尿病専門医に受診されることをお勧めいたします。

(IBM 判定基準)

	A (異常なし)	B (要生活習慣改善/経過観察)	C (要再検 3カ月以内)	D (要精密検査)	E (要治療)
HbA1c (NGSP)	4.6 ≤ 値 ≤ 5.5	5.6 ≤ 値 ≤ 6.4		値 ≤ 4.5、6.5 ≤ 値 ≤ 6.9	7.0 ≤ 値
尿糖	—	±	+以上	2+以上	

糖尿病性腎症が進行すると、やがて人工透析が必要に

糖尿病性腎症は 20 ~ 30 年をかけて、人工透析が必要な末期の腎不全状態へと進行していきます。末期まで進行して尿毒症の状態になると、人工的に老廃物や不要物を血液から取り除く治療 (人工透析) に頼らなくてはなりません。

また糖尿病は、腎症だけでなく、網膜症や末梢神経障害 (足の壊疽など) 等の重篤な合併症を引き起こす原因にもなります。そのため、定期的な検査によって症状の早期発見に努めること、糖尿病の正しいコントロールを続けることが大切です。